



# SHOKEI



SHOKEI

2015  
505

尚綱新時代へのスタート「中学校・高等学校礼拝堂完成」



大学／尚志祭

## 尚綱新時代へのスタート 「中学校・高等学校礼拝堂完成」

輝き

中学校生徒会

教職員エッセイ 梅の花

中学校・高等学校教頭／斎藤公夫

卒業生コラム はばたき

1961年 尚綱学院大学女子短期大学部保育科 卒業  
バンビグループ絵画教室 主宰／高坂恵子さん

情報掲示板 学校行事報告、同窓会コーナー

vol.  
505

2015年(平成27年)  
12月10日発行



宗教主任  
田所 義郎



### 宗教主任よりメッセージ

クリスマスはイエス・キリストのご降誕を記念する祝日であり、世界中の人々によって祝われます。尚綱に通う皆さんには学校での行事だけではなく、ぜひ教会で行われるクリスマス礼拝(12月20日午前中)やクリスマス・イヴ礼拝(12月24日夜)にも出席して、本当のクリスマスに触れてもらいたいと思います。クリスマス・イヴ礼拝では讃美礼拝や聖誕劇などが行われ、礼拝後には街へ出て賛美歌を歌うキャロリングも行われます。パーティーやデートだけではなく、救い主誕生の喜びの声を街中に響かせるというクリスマス・イヴの過ごし方も素敵なものではないでしょうか。各教会の礼拝予定については宗教主任または各教会まで問い合わせてください。



### 中学校・高等学校 公開クリスマス礼拝のご案内

#### イエスキリストの降誕～ページェント

本校では中学生が演じる無言劇「イエスキリストの降誕」と中高生徒と教員と一緒に演じるイエスの生涯劇“The king of kings”を1年ごとに行っています。今年は、「イエスキリストの降誕」を行います。ぜひご来場いただき、クリスマス本来の意味を改めて考え、その喜びと共にわかちあいませんか？ 皆様のお越しをお待ちしております。

- ◆ 日時 2015年12月23日(水)
- ◆ 会場 尚綱学院中学校・高等学校 礼拝堂
- ◆ 生徒対象 15:00～16:20
- ◆ 保護者・一般の方対象 18:00～19:20(開場17:30)

【おねがい】 ●駐車場がございませんので公共交通機関をご利用下さい

▶ 問い合わせ／尚綱学院中学校・高等学校 TEL 022-264-5881

### 後藤香織 チャリティー パイプオルガンコンサート

2015年12月19日(土) 15:00～16:00

◆ 会場 尚綱学院大学礼拝堂

パイプオルガン奏者として、世界で活躍している卒業生で、学生・教職員対象のパイプオルガン講座の講師もお願いしている後藤香織さんによるコンサートです。皆様のご来場をお待ちしております。



▶ 問い合わせ／尚綱学院大学 総務課 TEL 022-381-3333

### 建設整備事業募金ご協力をお願い

■中学校・高等学校校舎 ■大学礼拝堂

募金状況報告(目標額2億円)

¥81,109,208.(目標額の40.6%) ※11月20日現在

寄付の方法

募金の期間 2015年12月31日まで

建設事業募金インターネット申込受付開始のご案内  
(コンビニでお支払いいただけます。)

- ①尚綱学院HPの建設事業募金(申し込みフォーム)をクリック
- ②必要項目をご入力ください。
- ③ご自宅に払込伝票が届きます。  
(土日祝日を除き発送致しますので、お時間がかかる場合がございます。)
- ④最寄りのコンビニエンスストアでお支払いをお願いします。

スマートフォンの方は右のQRコードを読み取り下さい。



指定の振込(払込)用紙を準備しております。必要な事項をご記入の上、下記金融機関から手続きをお願いします。(振込手数料は無料です)

□ 座 名 学校法人 尚綱学院募金事務局  
● ゆうちょ銀行(郵便局) □ 口座番号 02220-8-43433  
● 七十七銀行長町支店 □ 口座番号 普通預金 57441105

○ 問合せ (学)尚綱学院 法人事務局募金事務局  
TEL 022-381-3471 ※月～金 9時～17時  
Email ▶ bokin@shokei.ac.jp URL ▶ http://ap.shokei.jp/

### おくやみ

鈴木 要子様(76歳)  
(元中高教員)  
3月10日逝去されました

鈴木 啓喜様(98歳)  
(大学・健康栄養学科教員 和泉真喜子様ご尊父)  
9月6日逝去されました

村上 克男様(88歳)  
(元中高校長)  
9月28日逝去されました

柳川 敏男様(72歳)  
(大学・人間心理学科教員 川端壮康様ご岳父)  
11月4日逝去されました

小泉 みついで様(99歳)  
(大学事務部職員 菊地主司様ご祖母)  
11月9日逝去されました

佐々木 昭夫様(89歳)  
(大学・環境構想学科教員 桂重樹様ご岳父)  
11月21日逝去されました

廣瀬 節夫様(81歳)  
(大学・表現文化学科教員 廣瀬愛様ご尊父)  
11月30日逝去されました

尚綱学院  
後援会会員に  
加入の  
お願い

尚綱学院後援会は、「尚綱誌の発行」と「学院への援助」を行っている支援団体です。学院を応援して下さる方ならどなたでもご加入いただけますので、ご協力の程お願い申し上げます。

学院への援助と共に  
尚綱誌が届きます。  
(年6冊 5回発送)

5月 7月 9月 12月 2月

※9月のみ通常号・入募集特集号同時発行

郵便振込口座NO

年会費 2,000円/年 納入方法 02230-3-2116

数年分をまとめてのお申し込みも、お待ちしております。 手数料無料の振込用紙がございますのでご利用ください。

※尚綱誌購読中の方で、氏名・住所等変更された場合は、ご連絡ください。  
※記事を読んでの感想・懐かしい思い出のお写真、楽しい情報等もお待ちしております。  
お手紙・おハガキ・TEL・FAX・E-mailにてご連絡ください。

尚綱学院後援会  
事務局

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1  
TEL 022-381-3342 FAX 022-381-3467  
U R L: http://ap.shokei.jp/dk/  
E-mail: koenkai@shokei.ac.jp

### 編集委員 徒然日記

新校舎に移って数か月、まだ使うのに慣れないが、お気に入りも見つ一つある。例えば、朝の光が差し込んで、新しく、明るく全校生徒を包んでいる、礼拝堂。そして、夜の駐車場までの外通路。常夜灯は足元がわかる程度で、周囲は暗い。リラックスできるひと時だ。日中の活動的な校舎とのギャップも面白い。授業や部活動、仲間と集って交流したり、一人思索にふけったり。学校生活の様々な場面を新しい校舎が育んでいる。(佐藤)

尚綱新時代へのスタート!

中学校・  
高等学校

# 礼拝堂完成



## 新礼拝堂完成

宗教主任 田所 義郎

この度、このようにすばらしい新礼拝堂が与えられ、さらに生徒で施設定員970名がいっぱいに満されていることに心から感謝したいと思います。

尚綱での学校生活の中心は何といつても礼拝です。礼拝堂は私たちの学校の中心であります。礼拝堂は、旧校舎においても尚綱生にとって最も印象の深い思い出の場であり、特別に愛された場所でありました。

中学校・高等学校の礼拝堂の特徴は、礼拝の場であると共に、式典、講演会、生徒会活動、課外活動、部活動など様々な場面に用いられるということです。

礼拝堂は「祈りの家」と呼ばれています。前宗教主任の小林孝男先生は尚綱にとって礼拝（祈り）は呼吸と同じであるとおっしゃっておられました。目には見えない神様と祈りを通してつながることによって与えられる助け、導き、祝福に私たちは生かされているのです。主イエスはぶどうの木、私たちはその枝であり、つながっていないければ豊かな実を結ぶことは期待できないのです（ヨハネ15・5）。その意味で祈りは私たちにとって最も重要なライフラインだといえます。

聖書には主イエスが神殿の中で商売する人々を追いつけたという記事があります。当時、神殿での礼拝には、厳格な基準に従った捧げものが必要であり、それを用意して販売する商人たちの存在も欠かせないものでした。しかし、いつしか神様を礼拝するための商売が、商人や司祭たちの私腹を肥やすためのものになってしまっていたのです。神様にはなく、自分たちの関心だけを満たすことが目的となり、神様を仰ぎ見ることを忘れてしまったのです。主イエスはこの人々を「わたしの家は祈りの家でなければならぬ」、「ところが、あなたがたはそれを強盗の巣にしている」と厳しく非難されました。神様はこの新礼拝堂が学校生活の様々な場面で用いられることを期待しておられます。いつまでもこの礼拝堂が真の祈りの家であり続けるように、いつも神を仰ぎ見る学校の歩みを続けていききたいと祈り求めます。

## 礼拝堂献堂式

8月22日（土）に中高礼拝堂献堂式・新校舎棟内覧会が行われ、中高建設関係者をはじめ、学校関係者、同窓生、保護者や地域の方々と約150名が参加し、神様の大きな恵みに感謝しながら、式が執り行われました。



## 新礼拝堂の風景

中学校・高等学校 事務長

菊池 雅人



新校舎の礼拝堂の全体は、澱橋から見るのが一番いい。コンクリートそのままの色をベースに、5階部分が白い帽子をかぶったような格好に見える。その帽子に十字架を設置して尚綱学院がキリスト教主義の学校であることを象徴的に表しているが、決して目立ちすぎないような配慮がなされている。

さて、礼拝堂に入るには、来客用の玄関から入って左側の階段を上っていくことになる。2階には宗教主任室があり、現在は学院長室を兼ねており、牧師の先生方もそこでお迎えできる。

宗教主任室を出るとすぐに、北側に面して全長40mの大きく長いガラス張りのテラスがある。そこから見える風景は、いまでもそ体育館が建っているが、次年度には解体されるので、その後は開放感たっぷりのグラウンドが目の前となる。



テラス側からドアを開けると、2階から5階まで高さ14mの大空間が現れる。全体席数は970席で旧礼拝堂より小さいが、構造上大きく感じる空間で、はじめて礼拝堂に入った人は必ずため息を漏らす。天井は東日本大震災程度の地震にも十分対応できるよう吊り天井ではなく鉄骨下地の構造としている。堂内で目立つのは、まずパイプオルガンである。イギリスのウォーカー社製で2003年に後援会から寄贈されたものだ。旧礼拝堂にあったものを、分解、クリーニング、搬送、組み立て、調律と、日本にいる数少ない技術者が二週間かけて移設した。土台も、コンクリートとしたため、従来より一層響きが良くなっている。

また、南側内壁の縦長の窓には、PTAからの寄贈であるステンドグラスが8枚セットされた。直線と青色を基調とした幾何学的なデザインは内側から見ても外側から見ても

椅子は重厚

感ある木製のベンチ式で、肘掛をなくしたので、座りやすくなっている。前の方の9列は可動式であるため、多様な利用方が考えられる。

さていよいよ例年の行事であるクリスマススピーチが、この礼拝堂を使って行なわれる。どんなステージが待ち受けているのだろうか、12月23日が楽しみである。



バンビグループ絵画教室 主宰

## 高坂 恵子さん

1961年 尚綱学院大学女子短期大学部保育科 卒業

〔卒業生コラム〕

habataki

はばたき

vol.39

恩師との出会いで始めた絵画教室。  
子供達やOBに支えられて50年。  
喜びあふれる絵の世界をこれからも。

卒業後絵画教室を主宰し通算50年ですが、  
この教室への思いをお聞かせ下さい。

私の絵画への思いと、子供の表現する造形心理の関わりを求め保育科へ。そこで出会った海老原教授のご依頼で5名の子供達と始めました。子供達には身近にある素材も含め造る喜び、描く楽しさを充分に感じて欲しいと思いました。また、以前バツハの無伴奏のCDを聴きながらチェロを描いた時、紙からはみ出しそうに大きく、重厚に描けたのを見て、五感の大切さも認識し、それ以来、絵と音楽は切り離せなくなり、安らぎある穏やかな中で描く事を今も継続しています。

毎夏開催する新潟合宿では、遊びを通して豊かな自然を満喫します。釣をして魚の内臓の観察、ピーカーで育つエリンギ、沢ガニの住み家の探検、そして目紛しく変わる大自然等、ドキドキワクワクを沢山体験することにより、心も身も養われ、生き生きと表現する力に繋がると思います。幼き日の絵との出会いを大切に、いつまでも描く喜びと楽しさを忘れずに!! と心より願っております。

50年を振り返ってみて、今の思いを聞かせて下さい。

子供達の喜びや楽しさ満杯の絵の世界は、私を元気に力強く生かしてくれ、正しく私の心の特效薬です。長い交わりは素晴らしい絆をもたらしてくれ、美術関係の仕事に就いたOB、親となったOB達に今も支えられ、中には二世帯に渡る繋りを続けています。これからも子供の心に寄り添って、必要とされる事に感謝し充実した時間を送りたいと思います。



教室の生徒さん達と



1965年の作品展にて  
(後列中央海老原教授、左がご本人)

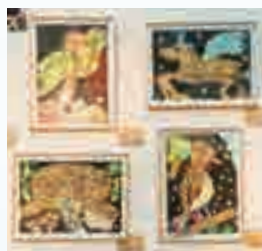
1959年 尚綱学院高等学校 卒業  
1961年 尚綱学院大学女子短期大学部保育科 卒業  
同年 仙台YMCA青葉幼稚園 勤務  
1963年 退園・バンビグループ絵画教室 発足  
1965年 作品展(三越仙台店) 結婚の為横浜転居  
1973年 バンビグループ絵画教室再開(横浜)  
1974年 第1回バンビグループ作品展(三越横浜店)  
以降毎年開催  
↓  
2015年 第40回作品展(みなとみらいギャラリー)  
現在も幼稚園児から高校生まで40名を指導

◀ドーナツとりすパンとクロワッサン(幼年少)

生徒さんの作品



マカロニアート



ガムテーパーアート



タイのおみやげ(小4)



自画像



マイシューズ

輝き

Vol.4

## 中学校生徒会



生徒総会

中学校生徒会執行部は毎週月曜日のお昼に現在の中学生の問題点や次回の行事などについて話し合っています。

現在は、11月12日の公開理想協に向けて中学校内の意見を一致させているところです。新校舎に移った今、この校舎ならではの要望が出てきています。それらの要望が通るよう、当日は3者が歩み寄って互いの意見を理解し、納得するまで話し合いたいと思います。

そして最近では、新しく中学校生徒会室が出来た影響からか前よりも一人一人が積極的に会議に参加するようになってきました。この度新旧交代になりましたが、新執行部になってもこの良い流れを止めずに今よりももっと良いものにしてほしいと思います。



左から／会計・茂永頼子、副会長・小松若菜、前副会長・星麗依奈、会長・高橋愛加、前会長・山下源、書記・小山内優介、前書記・松野みらい、副会長・草野結史、前会計・小山内和哉、書記・山口結子、会計・佐藤未羽

中学校生徒会 前会長 山下 凛

## 「きみが十時に眠るなら…」

「きみが十時に眠るなら、俺は夜明けの二時に寝る。人の倍やれ五倍やれ、それで勝負は五分と五分…」という歌がある。この歌がいつしか私の応援歌となっていた。人見知りで、不器用な私が教員として働くためには、とにかく授業の準備も、クラスの仕事も時間をかけてするしかなかった。この歌に勇気づけられながら…

しかし、仕事がうまくいかないことの方が圧倒的に多かった。そんなとき私は、生徒に励まされ、保護者に暖かい声をかけられ、その度に元気をもらう生活を送ってきた。

さて、最近先生方の仕事ぶりを見ていて頭が下がることが多い。職員室が一つ

になってさらに気づくことが多くなった。日々生徒と体当たりで立ち向かう姿や休みの日も生徒のために時間を割く姿。部活のために全精力を注ぐ姿。子育ての中限られた時間の中で精いっぱい仕事をする姿。そんな先生方がいるから尚綱の教育が成り立つ。

尚綱がキリスト教学校として存在する意味を問うとき、『他者と共に生きる』ことにたどり着く。我々教員が生徒の前に立つとき、その実践者となることがつねに求められていることを節目の年を迎える者として強く思う。

教職員エッセイ vol.39

## 梅の花

中学校・高等学校 教頭

斎藤 公夫



# 情報 掲示板

各学校からのお知らせ

夏から秋にかけ様々な  
イベントを実施。  
たくさんの思い出ができました

## 学院

11月23日(月)

### 尚綱音楽祭



11月23日  
(月・祝)に  
中学校・高  
等学校の新  
校舎礼拝堂  
にて、「尚  
綱音楽祭」  
を開催しま  
した。これ  
まで音楽活

動の成果を各団体ごとに発表して  
きましたが、今年は尚綱の音楽を  
より総合的に、より明確に表現す  
るために、尚綱の音楽家たちが一  
堂に集まり、「オール尚綱」で音楽  
祭が企画されました。当日は雨が  
降るあいにくの天気でしたが、同  
窓生や学生、地域の方々など約  
500名が参加し、オール尚綱が  
紡ぎ出すハーモニーで会場は熱気  
に包まれ、伝統ある「音楽の尚綱」  
に新たな一歩を刻みました。

(総務課 吉田 祐也)

## 11月24日(火) 創立記念礼拝



11月24日(火)に創立記念礼拝  
が中学校・高等学校の新校舎礼拝  
堂で行われました。日本基督教団  
仙台ホサナ教会牧師の長尾厚志氏  
による説教「恵みの土台」では、尚  
綱学院の土台である123年の伝  
統を認識す  
ることの大  
切さについ  
てお話をい  
ただきまし  
た。基調講  
演では、「継  
承されるキ

## 幼稚園

9月30日(水)

### 秋の遠足(年少)



10月に入り園内の木々からは木  
の実が落ち、木の葉は赤や黄色に  
色を変え、一段と秋が深まってい  
ました。年少組は、9月30日に仙  
台市八木山動物園へ秋の遠足へ行  
つてきました。幼稚園では図鑑を  
見たり、折り紙で動物を作ったり、  
絵を描いて楽しみにしていた子ど  
もたち。当日は欠席もおらず、全  
員で園内を散策しました。そして、  
実際大きな動物に驚いている子  
目をキラキラさせて興奮しながら  
喜んでい子など様々でした。お  
弁当を食べながら「カバのお尻おっ  
きい!!」「フラミンゴ(走るのが)  
速い!!」など口々に話していまし  
た。本物に触れ、また新しい体験  
をした子どもたちでした。

(幼稚園教員 柴山 美佳)

## 9月19日(土) プレイフェスティバル



前日までの雨  
が心配されまし  
たが当日は天気  
も良く、朝早く  
からの先生方の  
グラウンド整備も  
あり無事にプレイフェスティバル  
が開催されました。

未満児さんから年長さんまで、  
各組別に練習したプログラムを披  
露します。

色々と小道具もあり、事前に楽し  
みながら制作した様子が頭に浮  
かびました。歳が上がるにつれ内  
容も少しずつ難しくなり、幼稚園  
にいる間の子供の成長を感じます。  
年長さんは跳び箱や鉄棒、リレー  
など運動能力を存分に発揮してい  
ました。子供達の笑顔や頑張る姿  
に元気を分けてもらいました。

(ちゅうりつぶ組保護者 高橋 慶)

10月17日(土)

### ハッピーランド



10月17日(土)、今年もお父さん  
先生として、ハッピーランドに参加  
させていただきました。今年の年  
長さんは、秋の定番芋煮汁、畑で採  
ったサツマイモで作った焼いも、ピ  
ザ窯で焼いたピザと、本当に幼稚  
園で作るの?という料理ばかりで  
す。子ども達に手伝いをお願いす  
ると、みんな進んで手伝ってくれ、  
あつという間に料理は完成しまし  
た。子ども達が心を込めて作った  
料理は、みなさんおいしそうに食  
べて下さり、とてもハッピーな時間  
を過ごすことが出来ました。

素晴らしいイベントを開催して  
いただき、心より感謝いたします。  
(年長組保護者 平井 充)

## 中学校・高等学校

7月23日(木)～8月6日(木)

### モンタナ研修報告



#### 中学校

私は7月23日から8月6日まで  
アメリカのモンタナ州で行われた  
海外研修に参加しました。モンタ  
ナに行く前、不安でいっぱいでした。  
海外に行くのは初めてで、し  
かも2週間という長い間をやり切



れるのか…そんな気持ちを抱えた  
まま出発したのです。  
しかし、私の心配はすぐに消え  
ました。午前中に行われる授業は  
とても面白く、いつもあつという間  
で、午後のアクティビティーはお買  
い物や施設訪問、ハイキングなどの  
一つ一つが実りある時間でした。  
この海外研修では毎日が充実し  
ていて、一日がとても早く感じまし  
た。英語の能力を高めることはも  
ちろん、3Aの仲をより一層深める  
ことができ、みんなで過ごした2  
週間は大切な宝物になりました。  
この学びを通して得た英語で伝え  
る力を高校に繋げていきたいです。  
(3年 阿部 ほか)

## 中学校

9月3日(木)

### 天文台学習を終えて



今日は仙台市天文台で校外学習  
をしました。星座や太陽系の軌道  
や大きさを、知ることが出来まし  
た。太陽系はものすごく大きいと  
思っていたのに、銀河系ははるか  
に大きく、広大であることが驚き  
ました。望遠鏡では太陽の黒点を  
観察することが出来ました。展示  
室では、惑星の公転周期や月の姿  
を知りました。私は仙台市天文台  
に来て、改めて惑星などの細かい  
ことを知ることが出来ました。ま  
た、知りたいことも増えました。  
今度は学校の校外学習だけでなく、  
個人的に来て仙台市天文台の  
職員さんなどに話を聞いてみたい  
と思いました。  
(1年 河村 日和)

7月22日(水)～8月6日(木)

### オーストラリア 短期留学

#### 高等学校



今年も夏休み期間中の週間を利  
用しオーストラリア短期留学プロ  
グラムが行われました。内容は現  
地の学校での授業や交流だけでな  
く、動物園や様々な店に行ったり、  
日曜日は教会で礼拝をしたり、ホ  
ームステイをして過ごしました。  
多文化主義国のためかホストフ



アメリカの家系は様々で、友人と  
の情報交換は笑いと驚きの連続と  
なり、多くのことを学ぶ機会にも  
なりました。

これを通してより多くの交流が  
深まっていことを願います。

(1年 志村 みさと)

9月7日(月)～10日(木)  
職場体験



私は、9月7日から10日までみやぎ生協木町店で職場体験をしました。

初めは楽しそうだなと思っていました。ですが力仕事が多く毎日大変でした。しかし職場のみなさんとお話したり、お客さんの「がんばって」という声がとても嬉しかったです。

一番大変だったのはダンボールに入っている商品を棚に出す品出しという仕事です。簡単に見えませんが大変でした。

私は職場体験をして普通に手にしていた商品も手間暇がかかっているということを知ることができました。四日間とても楽しかったです。

(2年 八鍬舞香)

10月20日(火)  
奉仕の日



10月20日に収穫感謝礼拝・施設訪問が行われました。施設訪問では、中学生が光陽ホーム・シオンの園を訪問し、高校生がキリスト教育院・洛風苑・啓佑学園・貝山中央病院を訪問しました。

中学生は、奉仕の日として毎年この収穫感謝訪問に全員で参加してきました。訪問は慣れていたのですが、今回は初めて訪問する場所なので緊張していました。私が楽しみにしていたのは、お話の時間です。私が声をかけた方は、歌の時に大きな声で歌って下さった方でした。しかし、お話の時間になると、その方は何も声を発してくれませんでした。悲しい思いで家に帰って母に話すと、「良い勉強になったね。少し大人になれたんじゃない」と一言。諦めず、相手の方の気持ちを感ずることができるようになりたいと思いました。

(中学宗教委員会副委員長 3年 鈴木美月)

高等学校  
9月18日(金)



尚絅学院大学の各学科から先生を招き、ミニ講義と合わせて学科の学びの特徴の説明をしてもらいました。生徒たちは事前に2学科を選択し、それぞれの学科や大学での学びについての情報を得ました。

卒業生からの報告あり、最新の業界情報の提供あり、グループでのディスカッション形式の講義ありと、生徒たちの進路意識を高める有益な場となりました。各学科の担当先生は次の通り。

【表現文化学科】大野 実先生  
【人間心理学科】太田 健児先生  
【子ども学科】田村 嘉勝先生  
【現代社会学科】藤本 吉則先生  
【環境構想学科】桂 重樹先生  
【健康栄養学科】今野 曉子先生  
(進路部主任 濱家博幸)

10月13日(火)  
学校公開



10月13日(火)、尚絅中高としては初めての平日の学校公開(授業公開)を行いました。こんにち学校公開は多くの小中高校で行われています。本校でも、新校舎に移ったこともあり、多くの方に学校と授業を見ていただき、私たちの一層の授業向上に生かすために、実施することとしたものです。この日は小中学生合わせて68組127名の方が来校されました。午後には大学見学・授業体験が予定されていたこともあり、時間とエリアを限った公開でした。来年度はもっと長い時間、学校と授業を自由に見ていただくなどの構想を持っています。

(教務部主任 佐々木達也)

10月22日(木)  
キリスト教講演会



後期キリスト教講演会では、ゴスペルシンガーのサムエルさんにお越しいただき、素敵な歌を何曲も聴かせて頂きました。さらに、人生は一度きりで選択の連続である、それゆえ目に見えるものだけでなく目に見えないものに心を向けることが大切だというお話をさせて頂きました。後期キリスト教週間のテーマは「賛美」ということで、音楽の授業ではサムエルさんの曲を練習したり、朝の礼拝では賛美することの意味や大切さを学んだりました。新しい礼拝堂での初めての講演会となり、卒業していく3年生にとっても特別なキリスト教週間となりました。

(3年 千葉拓夢)

11月3日(火)

地域との交流会



去る11月3日、中高の文化部を中心とする有志が八幡地区の高齢者の方々と交流会を持ちました。100名を超す生徒が力を合わせて約70名の方をお迎えして交流を深めました。

放送部と宗教部が企画運営し、合唱部の歌や管弦楽部の演奏を楽しんでいたが、一緒にゲームもしました。昼食は私たちの作った豚汁を食べながら会話を弾ませました。

この交流行事は来年度10年目になるそうです。地域の皆さんに、11月3日は「尚絅の日」と位置付けられるといい感じでした。

(家政科学部部長 門脇薫)

大学

8月22日(土)～9月26日(土)  
公開講座



大学入募入試部の主催による公開講座が、8月22日～9月26日までの毎週土曜日、6回にわたり仙台市中心部(仙台駅前、勾当台公園等)を会場に開催されました。

6学科からそれぞれ講師が担当し、文学・栄養学・経済学・心理学等、幅広い講座が開講されました。高校生から社会人、主婦、一般の方まで幅広い層の方に、そして60～70代の方からも多数申し込み頂きました。

参加者からは「経済学の面白さと同時に次世代の子どもたちへの不安も感じた」「経済学」「次回は是非調理実習的な講座を開いて欲しい」「栄養学」等の感想が寄せられました。次年度の企画に活かしていきたいと思っています。

(入試広報課長 原田紀)

9月7日(月)～8日(火)

「Laugh x Rough」&  
「尚絅アスリート食堂」



このタイトルを見て「何のこと？」をお思いの方々がほとんどだと思います。これは、健康栄養学科細矢研究室で今年度実施した教職員・学生に向けて実施した期間限定の食堂です。

「Laugh x Rough」とは食堂名であり、「気軽に足を運んで(Laugh)、食事食べて笑顔になれる(Rough)」という思いを基に学生たちが命名しました。そして「尚絅アスリート食堂」は、「スポーツ栄養学」の理論に基づいて一般向けに展開した食堂であり、昨年度から実施しております。今年は3月11日～13日、9月7日～8日の合計5日間、食堂をオープンしましたが多くの方々に来店していただき、学生たちの喜びと刺激になりました。

(健康栄養学科教員 細矢理奈)

10月11日(日)

宗教部企画  
特別コンサート



10月11日(日)15時より尚絅学院大学礼拝堂にて、本学院と宮城県文化振興財団の共催による特別コンサート「天上の音楽 天折の天才ヘンリー・パーセル」を開催しました。国際的に活躍するヴィオラ・ダ・ガンバ奏者上村かおりさんを中心にバロック音楽の名人・歌手による演奏が行われ、イギリスのバロック時代を代表する音楽家パーセルの響きが礼拝堂一杯に奏でられました。当日はバロック音楽のファン、演奏者のファン、そして仮設住宅の方々も含めて約170名の入場者があり、およそ1時間の至福のひと時を共有しました。企画実現のためにお働きくださった全ての方々に心より御礼申し上げます。

(大学宗教部長 佐藤淳二)

本の寄贈

「みちのくの道の先」  
タマシィ・アレン先生の生涯



タマシィ・アレンは、若き日に海外伝道を志し、1917(大正6年)、27歳で尚絅女学校に赴任。しかしその後、より切実に助けを求めている人々のために尽くしたいとの思いから、1929(昭和4年)、仙台を去り、遠野から盛岡へ、さらに久慈へと向かう。そのアレンを待ち受けていたのは、打ち続く冷害凶作、飢饉、そして三陸大津波であった。

戦後再び日本に戻り、東北の若者の将来を明るくものにしたいと学校を設立するが、なお試練が続く。

著者の目黒安子女史は、仙台市出身、アレン国際短期大学の最後の学長を務めた方である。本書には、東北の一隅で、生涯独身で東北の人々のために働き続けた一人の女性の波乱に満ちた生涯が、生き生きと描かれている。

(学長 合田隆史)

